

せいきょう連ニュース

CO-OP 岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

会員生協トピックス

おかやまコープ

「第10回だがしの日イベントin能登」に参加

3月2日、令和6年能登半島地震および豪雨災害の被災地支援として「やなぎだ植物公園（石川県鳳珠郡能登町）」で開催された、DAGASHIで世界を笑顔にする会主催の「第10回だがしの日イベントin能登」に、おかやまコープの職員4名が参加しました。

おかやまコープは、コープ商品のたこ焼とたまごスープ340食を組合員からのメッセージを印字したお箸とともに提供し、来場者からは、「おいしいスープをありがとう」、「箸袋のメッセージありがとうございます」などの声が寄せられ、大変喜んでいただきました。



コープ商品の「たこ焼き入りたまごスープ」を提供

岩手県大船渡市

林野火災物資支援活動に
AMDA基金から30万円拠出

2月26日に発生した岩手県大船渡市の森林火災では、100件以上の住宅が被害を受けており、多くの住民の方が避難生活を余儀なくされています。特定非営利活動法人AMDAから「岩手県大船渡市林野火災物資支援活動」への支援要請があり、協定に基づき「AMDA基金」から支援金30万円を拠出しました。

大船渡市役所に搬入された支援物(3月12日)
写真提供：AMDA

津山センター開所式・お披露目会を開催



開所式で行われたテープカット

3月15日、おかやまコープは県北の新たな配送拠点となる「津山センター」の開所式およびお披露目会を同センターで開催しました。新センターは、津山センターと久米センターを統廃合し、3月31日より稼働。

開所式では、来賓の皆さんやおかやまコープ田中照周理事長らによるテープカットが行われ、その後のお披露目会では、おかやまコープのプライベートブランド商品である「生協食パン」や「コープおかやま牛」、「生協ヨーグルト」などの試食ブースが設けられ、地域の皆さまや職員が施設内を見学しました。今後、地域の皆さまのご期待に添えるよう、職員一同努力してまいります。

岡山医療生協

岡山医療生協「たまりば」

岡山医療生協では、地域の中に「たまりば」を設置し、組合員活動を助け、地域の健康づくりをすすめています。現在、8カ所の「たまりば」があり、それぞれの「たまりば」で組合員が創意工夫して活動に取り組んでいます。

岡山市南区にある藤田支部では、3月14日に、たまりば「さなえ」で合同班会を開催し、12人が参加しました。この日は、①共同開発商品「やわらか蒲鉾 日の出」の試食会、②岡山市介護予防センターの方によるフレイルチェックを行い、その後、作業療法士によるタオル体操の指導がありました。

「久しぶりに腕を伸ばしたので、気持ちよかった」「肩の動きが悪かったのがよく分かった」「タオルを持ってするので、よく動けた」「継続して、さなえでやりたい」などの感想がありました。

それぞれの「たまりば」では、自分たちが興味のある企画を開催し、いろいろな方が参加されています。くらしの中の「健康」をテーマに人と人とのつながりが広がっています。



フレイルチェックの様子



タオル体操の様子

倉敷医療生協

9年続く「野菜市」の活動

目の前に瀬戸内の海が広がる笠岡市大島地区。人口減少が続く中、地域から店舗が全くなくなってしまいました。倉敷医療生協笠岡支部の組合員は、住み慣れた地域で暮らし続けるためにできることを考えて、毎週火曜日の午前中に「野菜市」を始めました。

卸しの業者さんにもご協力いただき、野菜以外の食料品なども扱っています。医療生協の「班」の仲間が1年間の当番表を作ってお手伝いするなどしています。

地域の方の利用も多く、悪天候で開催できない日はとても残念がられています。

医療生協の組合員が身近な場所でできる支え合いの活動。今では地域から頼りにされる活動として9年以上続いています。



こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

「くらしき防災フェア」に出展しました



2024年11月10日にまびふれあい公園にて、倉敷市が主催する「くらしき防災フェア」が開催され、ステージおよび河川敷エリアに出展しました。

ステージでは、こくみん共済 coop 岡山推進本部、岡山大学、岡山市の産学官連携で開発した「ぼうさいPiPit!ダンス」を披露し、地震から命を守るShake Outの3つの動き「まず低く、頭を守り、動かない」を子どもたちと一緒にダンスで学びました。

「班会通信」を発行

津山医療生協では、2025年2月より隔月で「班会通信」を発行することとしました。

機関紙「健康のひろば」が2ヶ月に1度の発行ということもあり、またページ数も限られている中で、少しでも活動を伝えるために班会に特化した通信としました。「健康のひろば」が奇数月の発行のため、「班会通信」は偶数月に発行し、班会で配布します。記事に載せるためにできるだけ班会の写真を撮れるよう班会メンバーに依頼したり、直接班会に伺ったりと工夫していく予定です。



新入生の入学準備イベントがパワーアップ!

就実生協学生部seedSは部員も増え、新入生の入学準備サポートをこれまで以上に手厚く実施しています。

特に対面の説明会においては、これまで職員主体で行っていた内容から、学生委員自らが伝えて説明する場面を大幅に増やしました。様々なイベントを通じて、新入生とその保護者を対象に、大学生活のスタートに必要な情報を提供し、安心して新しい生活を迎えられるようサポートを行うことを目的として取り組んでいます。

大学生活に関する内容や、先輩学生との交流セッションが設けられ、新入生が大学での生活に早く馴染むための手助けをしています。2025年度は日常的な生協の運営の中でも学生委員会がさらに活躍し、盛り上げていけるよう準備を進めています。



地区組合員総会を開催

各地区で地区組合員総会を開催しました。会場での参加、書面での参加、参加方法はそれぞれですが、一年間の活動の取り組みや次年度の方針などについて報告し、組合員同士で意見交換する大切な行事です。2025年度も組合員一人ひとりの想いが実現できるように、元気に活動をすすめます。



遺伝子組み換えナタネ調査を実施



輸入された遺伝子組み換えナタネが屋外で自生していないか確認するために、2005年から継続してナタネの野外調査を行っています。今年は3月に県内3箇所で開催しました。毎年陽性個体が見つかる地域もあります。ナタネはアブラナ科植物と容易に交雑するため、自生地が広がらないように今後も調査を続けます。



地域の公立学校園へサッカーボールを寄贈しました

岡山県学校生協では、団体保険引受会社である明治安田生命とともに、2019年度より地域の公立学校へサッカーボールを寄贈する活動を実施しています。

2024年度は、幼稚園・こども園を含む公立学校園86校園へ172球を順次お届けしました。こどもの健全育成に資する地域・社会貢献への取り組みとして、今後も継続して実施してまいります。



三井造船生協

使用済み切手・コイン募金寄贈

3月24日（月）、三井生協家庭会 久留島愛子会長と毛利静江福祉委員会リーダーが、「日本キリスト教海外医療協力会」の窓口となる「岡山博愛会病院」を訪問し、三井生協の店頭で集めた使用済み切手7.3kgとコイン募金20,734円を寄贈しました。

寄贈された使用済み切手は、切手商や切手収集家の方々に買い取ってもらい、換金したお金は、ワーカー派遣、奨学金事業、協働プロジェクトなど国際保健医療協力活動のために役立てられます。

2000年に開始したこの取り組みも、組合員の皆さまの協力により、今年で25年目を迎え、累計211kgの使用済み切手と1,043,884円のコイン募金を寄贈することができました。

メールの普及による郵便物の利用減少で、使用済み切手の収集も減少傾向にありますが、今後もこの取り組みを継続していきます。



岡山大学生協

2025年度 新入生向け 大学生生活準備を応援！ ～新入生サポートセンター・大学生生活準備説明会～

岡山大学では2025年度に向けて、推薦入試・一般入試の合格発表があり、合わせて約2,300人の新入生を迎えることになりました。

岡山大学生協では、一人暮らしをされる新入生向けに「新入生サポートセンター」でお部屋のご紹介を行いました。11月～3月までで受験生を含む約1,000組の方が来場され、お部屋や新生活の準備を行いました。

また、オンラインや講義室での説明会を開催し、オンラインの説明会には約1,100人、来場での説明会では約300組にご参加いただきました。



「地球“沸騰化”に私たちのできること」 をテーマに学習講演と活動報告

2025年2月18日（火）2024年度組合員活動交流集会がオルガホールにて開催され、気候変動という身近にも感じられる世界的なテーマについて、会場参加50名とオンライン参加67名が参加し、学習と交流を深めました。

学習講演「気候の危機にどう向き合うか」

東京大学教授 江守 正多さん



江守 正多さん

学習講演では、地球温暖化の仕組み、それが「人間の影響」によってもたらされていることは「疑う余地がない」こと、影響は長期化するので「今」が大切なこと、など科学的見地から、そして、温暖化の原因に責任のない人達ほど深刻な影響を受けること、SDGsとシナジーが多いことなど、社会的な見地からも含め、わかりやすい資料も駆使して解説されました。

気候変動対策はできるだけ早く、よりスピードを上げて取り組まねばならないが、人類はそのための資金も知恵も持っている、人類の選択と行動が問われていると提起しました。その上で、私たち一人一人はどうしたらよいか。「我慢する」のではなく、適切なものを選ぶことが大切で、今では分煙が当たり前になったように、一人一人の行動で社会を変えていけるという展望で結びました。質疑応答に時間をとり、時間いっぱいまで多くの意見交換ができました。



会場からは多くの質問が出されました。



会場の様子

2つの生協より「環境」に関する実践報告がありました

安場 美須寿さん▶

グリーンコープ生協おかやま理事長 安場 美須寿さんからは、発電事業や車両EV化など事業でのCO2削減の取り組み、リサイクルやリユースなど組合員活動での後押しで2027年度カーボンニュートラルをめざしていることを具体的事例で報告がありました。



◀福田 憲一さん

倉敷医療生協理事 環境委員会委員長 福田 憲一さんからは、環境委員会の活動として、環境という大きな問題を身近な地域の問題と結びつけてとらえ、「どうせ」から「どうにか」への行動変容を促すため、気候変動の学習や海ごみ拾い、へちまづくりなどの行動提起を行っている事例で報告がありました。



健康づくりや生活習慣の見直しの きっかけづくりに

「ヘルスチャレンジ2024」は、生活習慣の見直しと健康づくりの習慣を身につけることを目的に、「食事」「運動」「お口」を中心とした健康づくりに30日間チャレンジし、健康増進をめざす取り組みです。今回は食習慣見直し、特に減塩とたんぱく質摂取をお勧めするコースなど5コースを展開、のべ8,056人が参加しました。生協組合員や地域の方をはじめ、学校への案内を積極的に行い、10代以下の参加者が多数を占めるに至りました。また、岡山県「健康おかやま21」協賛事業、CO・OP共済健康づくり支援企画として実施しました。岡山県をはじめ、県内すべての自治体、4教育委員会、山陽新聞社から後援をいただきました。赤磐市・瀬戸内市・備前市では、広報誌に掲載していただき、和気町では、町の健康取り組みの「わくわく健康ポイント」の対象ともなりました。2025年度もより広く参加を呼び掛けできるよう工夫をしていくことで計画中です。お楽しみに！。

〈参加者の声から〉

- あらためて食生活を見直しました。基本の具たくさん汁に、塩、しょうゆをひかえてうす味でこれからも続けていきます。
- 早寝早起き、アルコールを減らした缶ビール350ml×1／日。血圧体重測っている。好きなうたごえを続けている。よくできた。
- ゲームのじかんをきめたことで、目のきゅうけいじかんをながくしたり、しゅくだいをギリギリまでしなくてよかった。



倉敷の地域のドッジボールクラブでも取り組み！

特定非営利活動法人 適格消費者団体 消費者ネットおかやま

岡山県委託事業 2024年度見守り力アップ講座を 15か所で開催、383名が受講

消費者ネットおかやまが岡山県から受託して開催している「見守り力アップ講座」は消費者被害の未然防止のため、地域の見守り力アップをめざし、住民、高齢者に関わる業務の人などさまざまな団体に被害の実態と見守りのポイントを学習していただく講座です。

2024年度「見守り力アップ講座」開催一覧

開催日	主催者
5/22	参画まにわ
6/3	早島町民課
6/18	倉敷医療生協
6/21	岡山県消費問題研究協議会美術支部
7/9	おかやまコープ倉敷エリア
7/12	は〜と♡ふるネット（倉敷エリア）
7/19	備前市社会福祉協議会
10/11	備前市社会福祉協議会
10/24	赤磐社会福祉協議会
11/17	市民後見人養成講座（県南）
11/22	真備町高齢者支援センター
12/9	浅口市寄島地区民生委員児童委員協議会
1/20	岡山農林水産総合センター農業大学校
2/10	真備町高齢者支援センター
2/21	和気町社会福祉協議会 苫木区ふれあい会



時にはグループワークで事例検討

高齢者の被害はコロナ後に再び増加、ネットを介した消費者被害も急増しています。まずは自分が被害者にならない知識を持つこと、周囲の人が被害に会っていないかを気づく眼を持つこと、困ったときの相談先を知っておくことが大切ということを県内各地でさまざまな立場の人が学びました。

2025年度も同様規模での実施を計画しますので、各地での開催の検討をよろしくお願いいたします。

「クリックひとつで人生が変わる？ ネット広告の光と影」

インターネットを介した消費者被害が急増しています。ネット広告の第一人者に深い知識とあふれる情熱をもって最新の情報と注意ポイントをわかりやすく語っていただきます。

日 時

2025年6月7日(土)
14:30～16:30

参加無料

場 所

岡山国際交流センター2F 国際会議場 ※オンライン同時配信あり
(岡山市北区奉還町2-2-1)

主 催

適格消費者団体 NPO法人消費者ネットおかやま
岡山県消費者団体連絡協議会

講師紹介

か さ い ほ く と
笠井 北斗 さん

一般社団法人日本アフィリエイト協議会(JAO)代表理事

1999年よりアフィリエイト広告やネット広告業界の健全化活動に取り組む、インターネット広告の専門家。第6回WebグランプリWeb人部門特別賞を受賞。東京都表示適正化対策専門助言員。東京デジタルCATS助言員。



※講演の後、パネルディスカッションを予定

「ネット広告を読み解く力とは?…消費者目線でチェックする」(仮題)
パネリストに笠井北斗氏、ノートルダム清心女子大学生 等を予定

参加申込

右の二次元
バーコードから
お申込み下さい。



申込メ切:5月31日(土)まで

問い合わせ先: 消費者ネットおかやま事務局 TEL 086-230-1316

会員生協企画のご案内

《 倉敷医療生協 》

小山美砂さん講演会



日 時

2025年5月17日(土)
午後1時30分～4時

場 所

くらしき
健康福祉プラザホール

右の二次元
バーコードから
お申込みの上、
ご参加下さい。



《 岡山医療生協 》

映画上映 & 監督トーク



日 時

2025年5月25日(日)
12時半 入場開始 13時 上映開始
15時 監督アフタートーク

場 所

岡山医療生活協同組合
コムコムホール

右の二次元
バーコードから
お申込み下さい。



申込メ切:5月20日(火)まで
定員150名(定員に達し次第締め切り)